

## 東和銀行が業績予想を下方修正 — 格付に影響なし

以下は、株式会社東和銀行（証券コード：8558）が、評価損を抱えた債券を売却することを主因に、26/3期の業績予想を下方修正したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) 当行は本日、26/3期の単体経常利益の予想を300億円の損失と、従来の35億円の利益から下方修正することを公表した。市場金利の上昇により評価損を抱えた債券を売却することに伴う損失を360億円計上することが主因である。損失の計上に伴い、単体コア資本比率は25年3月末の9.71%から7%程度まで低下すると見込んでいる。一方、債券を売却することによって得られる資金を、残存期間3年以内の国内債への再投資や事業性貸出金へ充当する方針としている。
- (2) 本件による格付への影響はない。JCRは25年7月に当行の長期発行体格付を見直し、「BBB+」で据置とし、格付の見通しを「安定的」とした。格付を支える要素として、中小企業向け取引を中心とした群馬・埼玉両県における一定の事業基盤や相応の収益力に加え、資本水準をあげている。本件に伴い当行のコア資本比率は大きく低下するが、JCRが重視する、その他有価証券の評価損などを調整後のコア資本比率への影響は限定的である。足元のコア業務純益は、資金利益の増加により堅調である。売却対象の債券に比べ利回りの高い債券や事業性貸出へのアセットの入れ替えにより、収益力をどの程度向上させていけるかにJCRは注目していく。

(担当) 加藤 厚・大石 剛

### 【参考】

発行体：株式会社東和銀行

長期発行体格付：BBB+

見通し：安定的

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル